

事務事業評価資料

施策名	芸術文化センターの運営			所管部局課名	企画県民部県民文化局芸術文化課				
事業名	芸術文化センター創造・公演事業			担当者電話番号	施設運営係 078-362-3153				
事業目的	国内外の優れた舞台芸術を上演し、幅広く県民に舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術文化の普及・振興を図る。								
事業内容	自主企画・プロデュース事業、 招聘・提携事業、 コンサート等を上演する普及事業				事業開始年度	平成17年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 499,388千円		(0千円) 350,000千円		(0千円) 350,000千円			
	人件費	90,031千円	従事人員 10.1人	85,557千円	従事人員 10.1人	84,436千円	従事人員 10.1人		
	総コスト (+)	589,419千円	従事人員 10.1人	435,557千円	従事人員 10.1人	434,436千円	従事人員 10.1人		
事業の目標	芸術文化の普及・振興のため、幅広く優れた公演事業を実施				[目標設定理由] 施設の設置目的が、広く芸術文化の振興を図る拠点とすることであるため				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	主催公演数	140公演	毎年度	232公演 (2,540千円)	191公演 (2,280千円)	191公演 (2,274千円)	165.7	136.4	136.4
評価結果	必要性	・自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹をなす事業として、幅広く県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。							
	有効性	・目標値を大幅に超える公演を実施し、年間約50万人の公演入場者があり、本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しつつあり、芸術文化振興の拠点となっている。							
	効率性	・記念期間と位置づけていた開館後3年間(H17～H19)が経過し、先行予約会員制度による固定ファン、賛助会員の獲得努力により入場料収入を確保していることも踏まえ、平成20年度から計画どおり県補助額を削減、1公演あたりの必要経費を減少した上で、公演の質・量とも記念期間と遜色のない展開を行っている。 ・平成20年度からは、将来の事業財源に充てるため、各ホールにネーミングライツを導入するなどコスト意識を持った効率的な事業実施を図っている。							
	民間・市町との役割分担	・芸術監督を擁し専属の管弦楽団を持つ舞台芸術専門劇場は、県内(民間・市町)に類似施設がない。芸術文化センターの活動によるオペラやクラシック音楽ファンの裾野拡大によって、他の劇場・ホールの活性化などの相乗効果が期待される。							
	受益と負担の適正化	・収支バランスを念頭において公演料を設定しているほか、普及・啓蒙的な事業では、受益者の負担軽減を図りながら、事業内容に応じた料金を徴収している。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	引き続き、自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」の理念を実現できる施設として、自主企画・プロデュース事業、国内外からの招聘・提携・共催事業など多彩な事業を展開していく。								